

# 山と博物館

第55巻 第4号 2010年4月25日

市立大町山岳博物館



鷹狩山展望台から見た大町市全景図（実物パネルの大きさは、5m×60cm） 写真：大西力夫

平成22年度特別展（平成22年4月24日（土）～5月30日（日））

## 「山岳パノラマ写真展」に寄せて

### 山岳パノラマ写真の撮影製作思い

私の生まれ育った大町市は、北アルプス（後立山連峰）の四季風景が素晴らしく、晴れた日に自宅近くの山岳博物館や鷹狩山展望台から見る雄大な風景は、小さいころから大変好きでした。そんな風景をパノラマにしようと、10年ほど前から、毎年撮ってきました。今回展示する鷹狩山からのパノラマはその中でも非常に条件が良く、撮影日2008年12月13日天気快晴、通常ならば鷹狩山は冬期通行止めで、車で上がって行けないのですが、積雪がなく容易に展望台から冬のパノラマ写真を撮る事が出来ました。まず三脚にカメラを固定、その時構図が縦になる様にカメラを縦位置にしました。これは天地を大きくとるためです。撮る範囲をまずファインダーで見ながら水平に廻してゆき、山の頂上が切れないか、撮りたい箇所はすべてファインダーの中に入るか2～3回パインしこれでOK。レンズのズームを確認、しぼりを確認、ピントは無限位置、シャッター速度オート（Aモード）、後はシャッターを押し必ず風景が重なるように注意して撮りました。

向かって右から白馬乗鞍岳、鹿島槍ヶ岳、爺ヶ岳、蓮華岳、餓鬼岳、有明山、常念岳、錦冠、鉢盛山、中央アルプス、南アルプス、美ヶ原、蓼科山付近まで撮影できました。現像をして、露出ピントOKだったのであとは赤津さんにお任せです。

（大西力夫）

若い時からカラーポでの現像や大型プリントの仕事につき、いまでも毎日がプリントの日々で、気がつけば写真のプリントを30年もやっています。この間写真の世界でもコンピューターが入り、150年かかって築き上げられてきたフィルムによる写真（銀塩写真）が数年の間にデジタル写真に代わろうという大きな変化がありました。コンピューターのない頃、暗室での写真合成、写真修正などは大変な事でいろいろ工夫してプリントをしたものです。15年程前コンピューターによる画像処理、修正が出来ることを知り、さっそく画像処理を勉強、暗室でのカラープリントの伸ばしと、修正の経験は非常に役立ちました。

繋ぎ写真として山岳写真は登山愛好家の間では昔から行われていましたが、つなぎ目がわからないようにする事は困難でした。しかしパソコンによる画像処理と、それを出力するプリンターの発達で、継目のない山岳パノラマ写真を展示することができるようになりました。

しかしプリント技術がいくら発達しても良いパノラマ素材が無くては出来ません。今回の山岳パノラマ写真は、山が好き、写真が好き数十名のメンバーが、それぞれ登った好条件に恵まれて写したパノラマ写真です。多くの写真には出来るだけ山の名と標高を入れておきました。またパノラマは扇状にディスプレイして臨場感を出すようにしてみました。山岳博物館へ来て頂いた方々が、パノラマの前で長い時間見入ってしまう事を望んでいます。

（パノラマ製作担当 赤津嘉崇）

# あの日、あの時。



仁科神明宮は、本殿と釣屋、中門が国宝に指定されている。御神木だった大杉＝写真中央＝は、昭和55年に、立ち枯れのため、伐採された。毎年3月15日には、作始めの神事が行われている。



<左>大系線を走っていた蒸気機関車C56。この94号機は、昭和12年の日立製作所製で、廃車までに147万キロ走った。昭和49年2月から、大町西公園で静態保存されている。(信濃木崎駅で撮影)  
<右>農耕や山林作業には、馬が活躍した。(昭和48年、居谷里で)

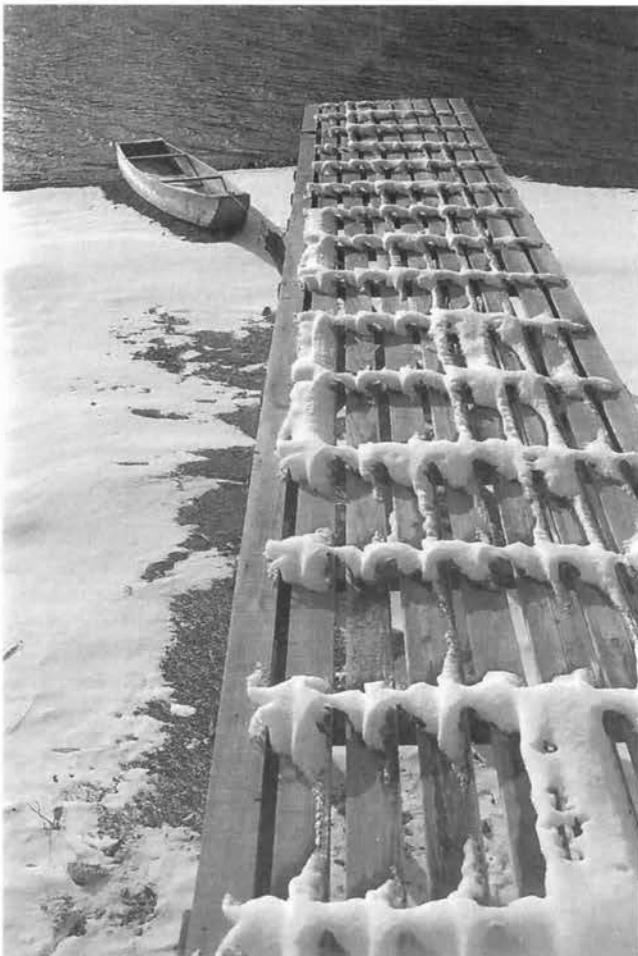




松本電鉄が、積雪悪路の坂道で、スキー客を輸送するために導入した四輪駆動バス。当時は、列車でスキー場近くの駅まで行き、バスに乗り換えた。(昭和46年2月、鹿島槍国際スキー場)

## モノクロームのアルバムから

丸山隆士



木崎湖畔を巡ると、こんな風景に出合った。栈橋と舟と雪が織りなす私だけへのプレゼント。(昭和48年2月)

昨年、還暦を迎えたのを機会に、これまで撮りたまっていた写真の整理を始めました。私の写真は、35ミリカメラで撮影した白黒ネガフィルムから始まり、カラーネガフィルムやリバーサルフィルムを使ったあと、数年前からデジタルカメラに移りました。

まず手掛けたのは、白黒フィルムです。一本一本見直しながら、必要な齎をデジタルのスキヤナーで読み取り、パソコンを経由して磁気媒体に保存しました。その中から、昭和四十六年に撮った大系線の蒸気機関車、四十四年から四十六年にかけて撮った四輪駆動バスを、二十ページから四十ページのフォトブックにまとめてみました。

貨物を運んでいた蒸気機関車C56は、翌年に大系線から姿を消すということから、四輪駆動バスは、私が冬の間、松本電鉄でアルバイトをしていたとき、大系線築場駅から鹿島

槍国際スキー場へスキーヤーを運ぶパワフルなバスに、車掌として乗務していたことから、写しておいたものです。

このほかにも、今は見られなくなった風景や、懐かしい街並み、木崎湖に飛来した白鳥のつがいと五羽のひな鳥の成長、若一王子神社の夏祭り、仁科神明宮の祭事、隣近所が結い(ゆい)で行った田植えなどいろいろありましたので、まず手始めに、白黒写真だけで、まとまった写真帳にしようかと準備中です。

撮った者にとっては、どれも愛着がある写真ばかりで、あれもこれもと欲張って、二百ページになりそうです。

昨今、デジタル技術の進歩によって、安価なフィルムスキヤナーも出回っていますので、貴重な写真や、思い出深い写真は、プリントしたり磁気媒体に保存できるようにになりました。皆さんも挑戦してみてください。

